

渡辺大三

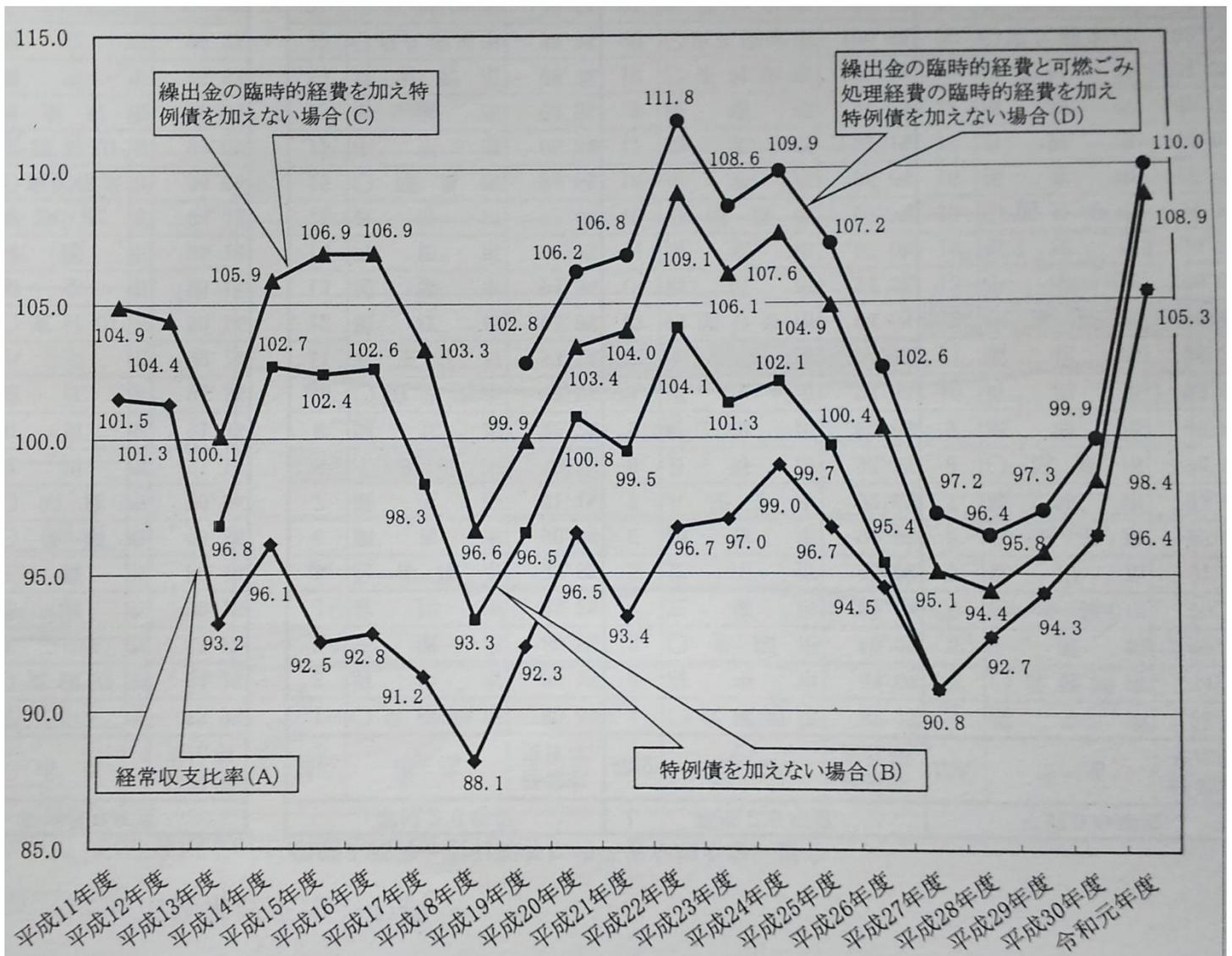
週刊 NEWS



【会派 NEWS】 2019(令和元)年 10月 17日号 週刊 Vol.34
ご意見ご要望はお気軽に 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

速報！ 財政指標、3年連続悪化

西岡市長による人件費急増など影響



平成 29 年度までは地方財政状況調査、平成 30 年度は地方財政状況調査速報値、令和元年度は第 5 回補正予算までの数値。

この折れ線グラフは、小金井市の経常収支比率の推移です。毎年の決算審査で私が提出を要求。市の財政課が作成しています。9月30日付けで直近のデータが提出されましたので、皆様に情報公開

いたします。

経常収支比率(グラフ上の A)は、市区町村の財政状態を示す最も代表的な財政指標であり、70～80%が健全な状態で、数値が大きくなればなるほど

財政状態が厳しいことを意味します。なお、「数字のマジック」で、経常収支比率は実際より低い数値となりますので、実質的な経常収支比率(グラフ上の D)を見る方が適切だと言えます。

※たとえば、A では、可燃ごみ処理経費を支出から除外して計算していますが、D では加えて計算しています。他の市では可燃ごみ処理経費は加えて計算しているのですから、小金井市も加えて計算すべきです。

グラフが平成 11 年度から始まっているのは、その年度当初に稲葉前市長が市長に初めて就任したからです。西岡市長は平成 27 年度の 12 月に市長に初めて就任しましたので、平成 11 年度から平成 27 年度までが稲葉前市長の「通信簿」、平成 28 年度以降が西岡市長の「通信簿」ということになります。

稲葉前市長の最終年度である平成 27 年度は、経常収支比率(A)が 90.8%、実質経常収支比率(D)が 97.2%でした。これとて数値としては良い数値とは言えません。

しかし、西岡市長になって以降は、市役所人件費が急増するなどして、3 年連続で数値が悪化。平成 30 年度決算(直近の決算)では、経常収支比率(A)は 96.4%、実質経常収支比率も 99.9%にまで悪化しています。完全な「落第点」と言わざるをえません。

「健全な財政」は「安定した市民サービス」の基盤となるものです。私も「情報公開こがねい」は、今後とも、わかりにくい財政問題をなるべく分かりやすく市民の皆様にお知らせしていきたいと考えています。

多摩 26 市の順位で見る 平成 30 年度決算

小金井市の直近の決算に関して、多摩 26 市における順位(市民一人あたりの額比)を掲載いたします。

◎歳入総額(市民一人あたり)・・・第 11 位

- 個人市民税(市民一人あたり)・・・第 5 位
- 法人市民税(市民一人あたり)・・・第 19 位
- 固定資産税(市民一人あたり)・・・第 16 位
- 都市計画税(市民一人あたり)・・・第 5 位
- たばこ税(市民一人あたり)・・・第 26 位
- 軽自動車税(市民一人あたり)・・・第 25 位
- 地方交付税(市民一人あたり)・・・第 21 位
- 国庫支出金(市民一人あたり)・・・第 9 位
- 都支出金(市民一人あたり)・・・第 8 位
- 財産収入(市民一人あたり)・・・第 25 位
- 寄附金(市民一人あたり)・・・第 20 位
- 繰越金(市民一人あたり)・・・第 2 位
- 市債(借金)(市民一人あたり)・・・第 17 位

◎歳出総額(市民一人あたり)・・・第 12 位

- 議会費(市民一人あたり)・・・第 12 位
- 総務費(市民一人あたり)・・・第 7 位
- 民生費(市民一人あたり)・・・第 24 位
- 社会福祉費(市民一人あたり)・・・第 25 位
- 老人福祉費(市民一人あたり)・・・第 24 位
- 児童福祉費(市民一人あたり)・・・第 9 位
- 生活保護費(市民一人あたり)・・・第 18 位
- 衛生費(市民一人あたり)・・・第 7 位
- 保健衛生費(市民一人あたり)・・・第 24 位
- 清掃費(市民一人あたり)・・・第 1 位
- 農林水産業費(市民一人あたり)・・・第 25 位
- 商工費(市民一人あたり)・・・第 20 位
- 土木費(市民一人あたり)・・・第 2 位
- 道路橋りょう費(市民一人あたり)・・・第 2 位
- 都市計画費(市民一人あたり)・・・第 1 位
- 消防費(市民一人あたり)・・・第 15 位
- 教育費(市民一人あたり)・・・第 26 位
- 小学校費(市民一人あたり)・・・第 26 位
- 中学校費(市民一人あたり)・・・第 25 位
- 社会教育費(市民一人あたり)・・・第 24 位
- 保健体育費(市民一人あたり)・・・第 19 位

アンダーラインを引いた箇所は、ベスト 3 またはワースト 3 となった「特徴的」な項目です。平成 30 年度決算を見ますと、清掃費(ごみ処理など)と都市計画費(駅前開発など)が第 1 位となる一方、社会福祉費(障がい者福祉など)、老人福祉費、保健衛生費(病気予防、健康施策など)、小中学校費、社会教育費(図書館など)が多摩 26 市の最低水準となっています。順位だけでは判断できない面もありますが、何にどうお金を使ったかの傾向は読み取れます。

脱ムダで市政を変える!

渡辺大三 **プロフィール**

1966 年 5 月 2 日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9 歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993 年、小金井市議選に 26 歳で初当選。以降 7 期連続当選(直近 4 期は無所属で立候補し、当選)。「脱ムダ改革」を掲げ、高額人件費問題など小金井市政のムダ遣いや不正、癒着、天下りを厳しくチェック。

現在=小金井の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」(代表=上田令子都議会議員)幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。
公式サイト www.daizou.org